

一般質問

12月12日、13日、16日の3日間にわたって一般質問を行いました。一般質問とは市政全般について市の考えなどを聞くもので、25人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。
会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)

録画映像はこちら



環境、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など

道 路 油山観光道路の渋滞対策を 市民ク

問 上り2車線、下り1車線の油山観光道路では、3つの地点が主要渋滞箇所を選定されている。特に下り車線はバスの停車が渋滞の原因の一つと考えられる。渋滞対策にぜひ力を入れてほしいが所見を問う。

答 油山観光道路の渋滞対策については、引き続き、都市の骨格となる幹線道路などの整備を行い、交通の円滑化や分散化を図るとともに、局所的な対策として交差点の改良やバス停カットの整備など総合的に取り組んでいく。

問 快適で過ごしやすい、来街者へ歓迎の気持ちを表し、地域の誇りや愛着につながる取り組みを進め、より魅力的な地下鉄の駅づくりに取り組んでほしい。駅では装飾事業を行っているか。

答 地下鉄については、快適で魅力的な駅づくりに取り組んでいく。

情報発信 情報を効果的に届けるために市政だよりのデジタル化を 新 維

問 市政だよりについては、旧来型の紙媒体だけではなくデジタル媒体を効果的に活用することが求められるが、これからどう市政情報の発信に取り組むのか。

答 市はこれまでデジタルを活用した情報発信を積極的に行ってきた。引き続き、テーマやターゲットに応じて市政だよりや市ホームページ、SNSをはじめ、あらゆる広報媒体を効果的に組み合わせながら、市民の納得や共感を得られるよう積極的な情報発信に取り組んでいく。

問 オスプレイの飛行中止と撤去を政府・米軍に求めるべき 共 産

問 令和6年11月に米軍のオスプレイが福岡空港に初めて飛来し、市民から不安と怒りの声が上がっている。市民の命と安全を守るため、日本国内での飛行中止と撤去を政府と米軍に働きかけべきと考えるが所見を問う。

答 国の安全保障に関しては、国の責任において適切に判断、対応され、その役割を果たされるものと認識している。市としては、引き続き、国の動向を注視し、市民生活の安全を確保する立場で適切に対応していく。

問 公民館と自治協議会の連携による地域の活性化を 自 民 新

問 地域の負担軽減や担い手不足解消のため、公民館に市職員を配置し、公民館が自治協議会の企画運営を主導できる体制整備を検討されたい。公民館と自治協議会の連携を含め、地域コミュニティ活性化にどう取り組むのか。

答 地域コミュニティ活動の拠点である公民館が自治協議会などと連携し、地域の絆づくりを進めることは重要である。今後とも持続可能な地域コミュニティづくりに向け、地域の皆さまともにしつかりと取り組んでいく。

問 一人の犠牲者も出さないと 防 災 一人の犠牲者も出さないと 防 災 一人の犠牲者も出さないと 防 災

問 より安全に安心して暮らせる社会となるよう、現場の最前線に立つ市と、国や県が連携して防災対策を進めるべきである。土砂災害への対応について、今後どう取り組んでいくのか。

答 近年、全国各地で大規模な自然災害が続いており、ハード・ソフト両面からまち全体の防災力を高めることが重要である。今後とも市民の命と財産を守ることを第一に、災害に強いまちづくりを進め、「防災先進都市・福岡」を目指し取り組んでいく。

問 子ども育成、教育など 教 育 学校給食費無償化の検討を 自 民

問 市税収入は増加し、地方創生臨時交付金も拡充されている。学校給食費を無償とすることで、小中学生のいる世帯の可処分所得が増えている実感につながり、消費も刺激され、街の活力向上にもつながると考えるが所見を問う。

答 昨今の物価高は広く市民生活に影響を及ぼしており、可処分所得の増加など子育て世帯への支援拡大は喫緊の課題である。学校給食費の無償化を含む、より踏み込んだ支援に取り組んでいく。

問 百道松原中学校開校に向けて 教 育 児童生徒へのメッセージを 新 風

問 令和7年4月開校の百道松原中学校が、笑顔とチャレンジが生まれ、友達と喜びや苦勞も分かち合える学び舎となることを期待している。新たな学び舎に期待を寄せる児童生徒へのメッセージと開校に向けた所見を問う。

答 さまざまな事情により在籍校に通えない子どもたちが、安心して学ぶことができる場になるよう4月に開校する。不登校で悩んでいる子どもたちが次の一歩を踏み出せるよう、引き続きしっかりと支援に取り組んでいく。

問 学校施設が安全を保障する 教 育 学校施設など教育環境の 共 産 早急な改善を

問 学校施設が安全を保障する場になっていない。予算を増やさなければいつまでも教育環境は整わない。教育予算を抜本的に引き上げ、教育環境を早急に改善すべきと考えるが答弁を求める。

答 これまで校舎の老朽化対策、普通教室や特別教室へのエアコン設置など、安心して学べる教育環境の整備に取り組んできた。今後とも、市の未来を担う子どもたちが安全・安心な教育環境で学べるよう、良好な教育環境の整備にしっかりと取り組んでいく。

問 不登校の児童生徒について 教 育 不登校の児童生徒について 新 維 学校外での健康診断の実施を

問 不登校の児童生徒の健康診断について、学校外であれば精神的な負担がなく受診でき、保護者の安心感にもつながる。本市でも検討してほしいが、学校医によるクリニックなど、学校外での健診の実施について所見を問う。

答 学校外での健康診断の実施については、関係機関や学校医などの理解や協力も不可欠であるため、先行自治体における実施方法や事業効果などについて調査・研究し、それらを踏まえて検討していく。

問 市の人口は増えているが、市立図書館の図書購入費用は年々減少しており、資料収集、蔵書充実機能が果たされず、蔵書の減少も懸念される。利用者減少があるが、今後どう取り組むのか。

答 近年のデジタル化・オンライン化の急速な進展や、社会環境の変化など新たな課題に対応できるよう、次期基本的運営方針の策定に取り組むなど、引き続き、図書サービスの充実を図っていく。



小学校で学校給食を食べている子どもたち